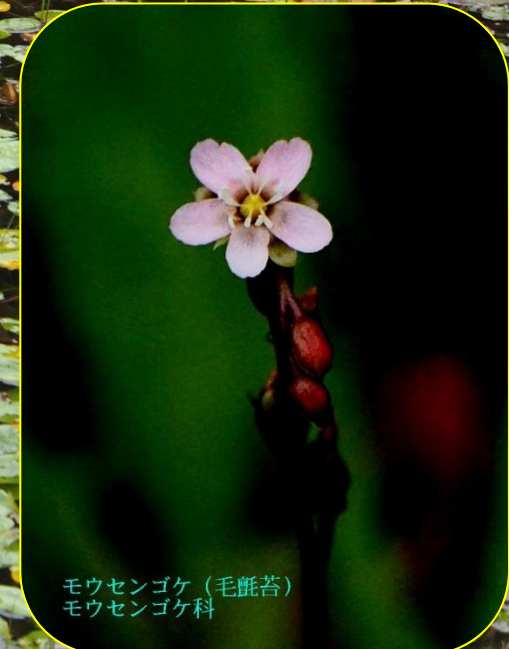
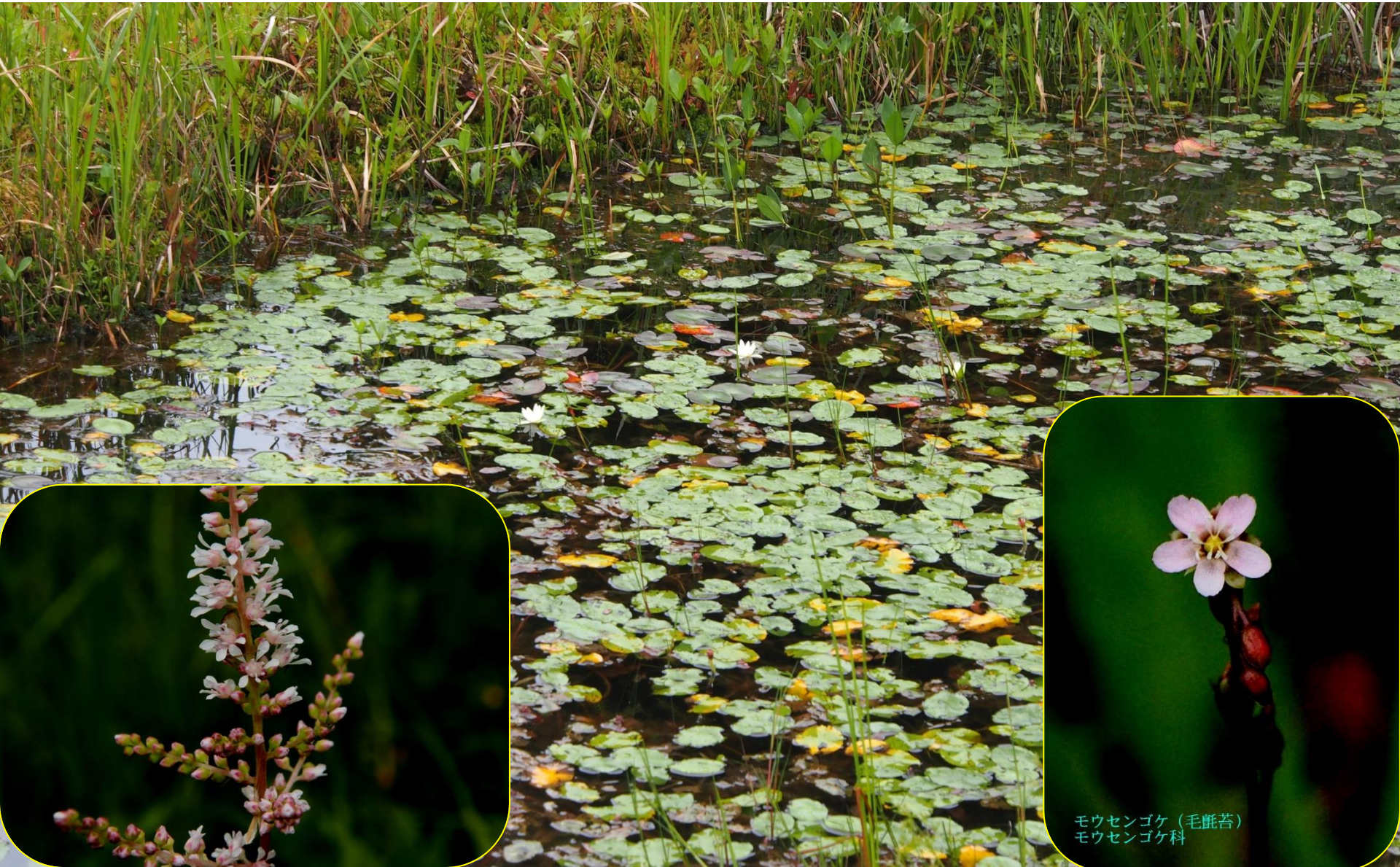


2015.07.08

# 檜原湿原のテリハアカショウマ、モウセンゴケ



モウセンゴケ (毛氈苔)  
モウセンゴケ科

# 天候は、曇り時々雨、気温26度C

今朝、23花とトンボ・4羽

カキラン

ウツボグサ

ヌマトラノオ

ノヤマハシバク

ヒツジグサ

ヒメミクリ

モウセンゴケ

ユウスゲ

ジュンサイ

ヒメアキスミレ

ミヤコグサ

ヒメタヌキモ

オオバギボウシ

コリナヤスリ

シロバナシ

コバギボウシ

テリハカシウマ(白)

オカトラノオ

ハツチロウトンボ

モートンイトンボ

キイトンボ

ベニイトンボ

モノサシトンボ

シヨウジョウトンボ

ムスジイトンボ

ギンヤンマ

クロイトンボ

ヨツボシトンボ

サラサヤンマ

オグマサナエ

ハラビロトンボ

ジャコウアゲハ

キアゲハ

アオスジアゲハ

40

40

30

30

20

20

10

10

0

0

10

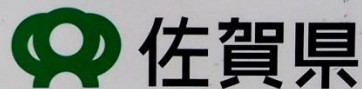
10

さ が けん しん りん かん きょう ぜい  
佐賀県森林環境税は

かし ばる しつ げん ほ ぜん しゅう へん  
檜原湿原の保全と、周辺の

こう はい しん りん せい び い  
荒廃森林整備に活かされて

います。



佐賀県

<http://www.pref.saga.lg.jp/>



カキラン 7月



モウセンゴケ 6月~8月



ハッチョウトンボ 6月~8月

古湯  
Furuyu  
檜原湿原  
Hinohara Marshland 0.2Km  
荒川  
Arakawa  
馬川  
Umakawa  
馬川  
Marokawa  
敵木  
Kyuuragi



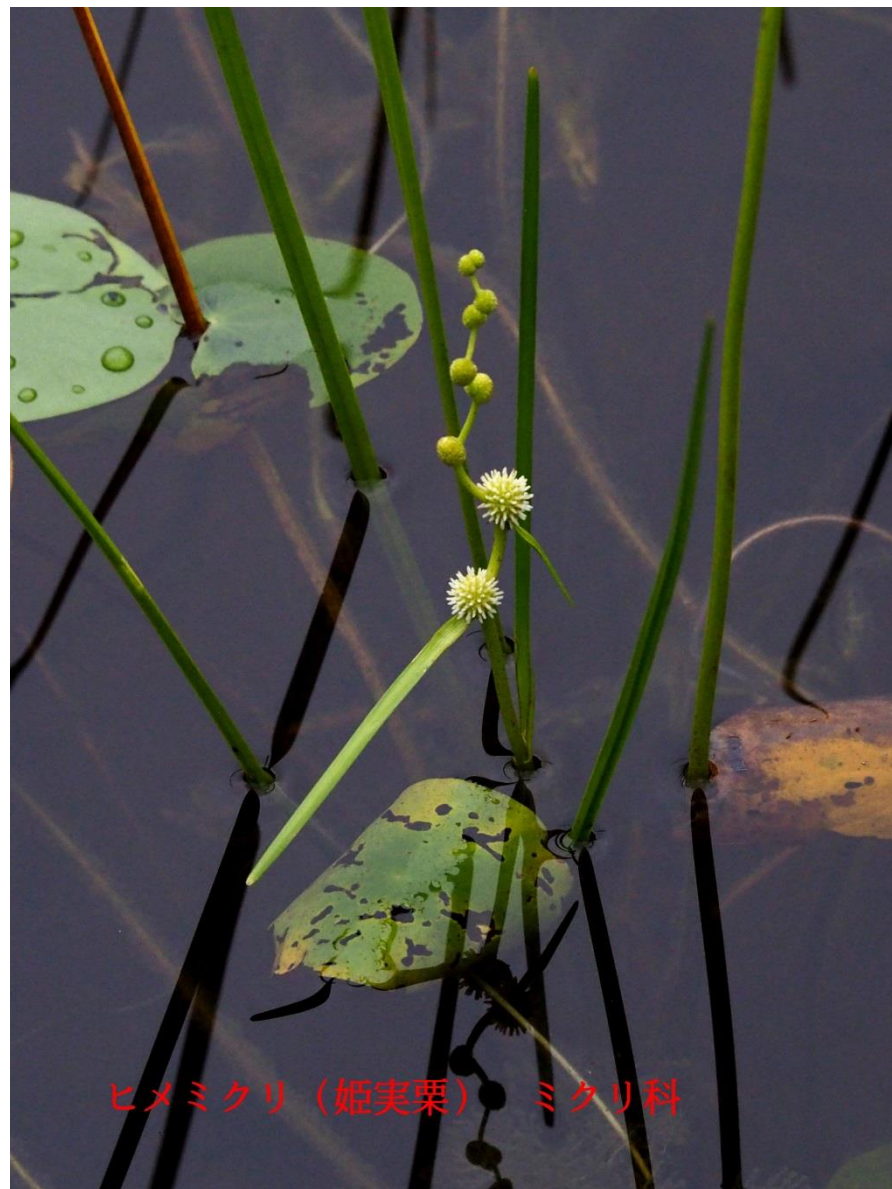


ミヤコグサ（都草） マメ科 別名：エボシグサ（烏帽子草）



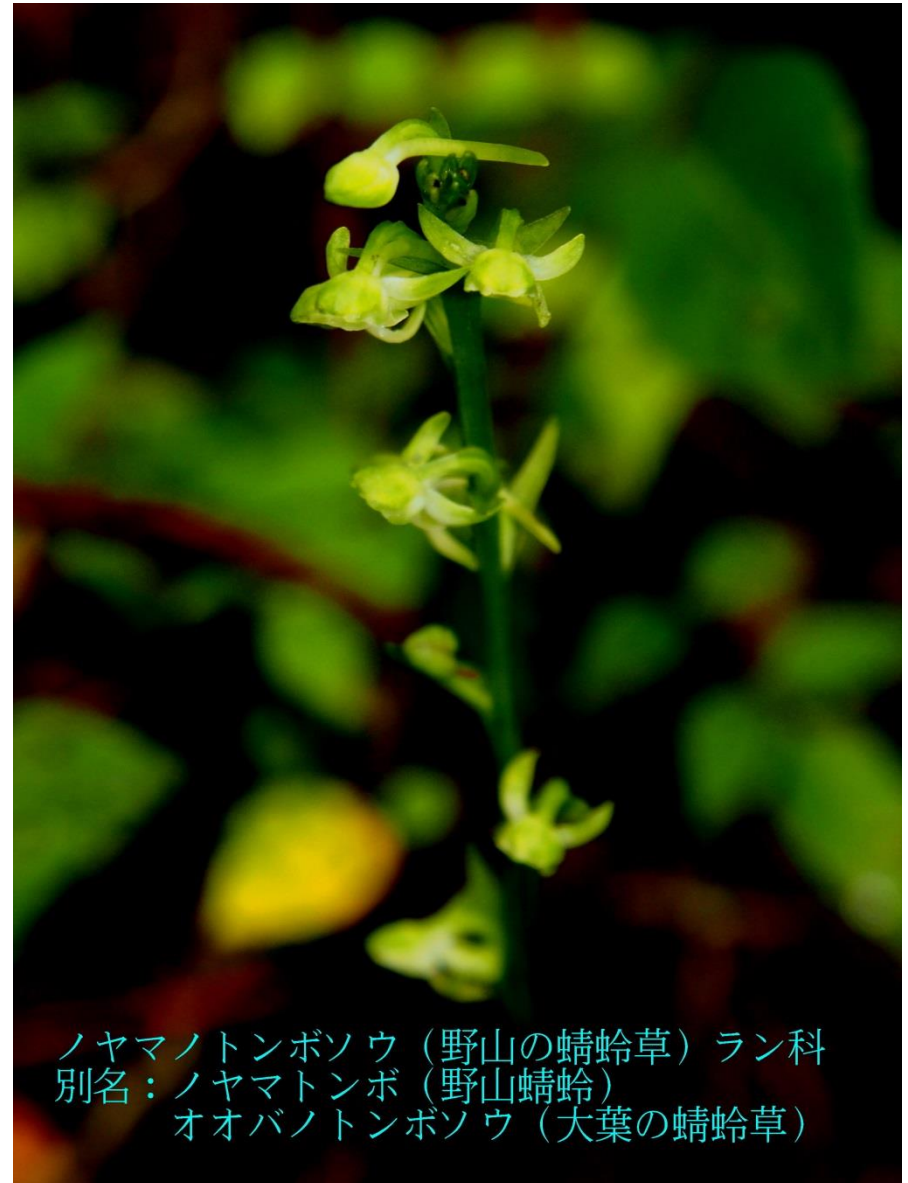
テリハアカシヨウマ（照葉赤升麻）  
ユキノシタ科

山地や林縁のやや湿った所に生える多年草。葉に光沢があることから「照葉」地下茎の皮が赤みを帯びることから「赤升麻」



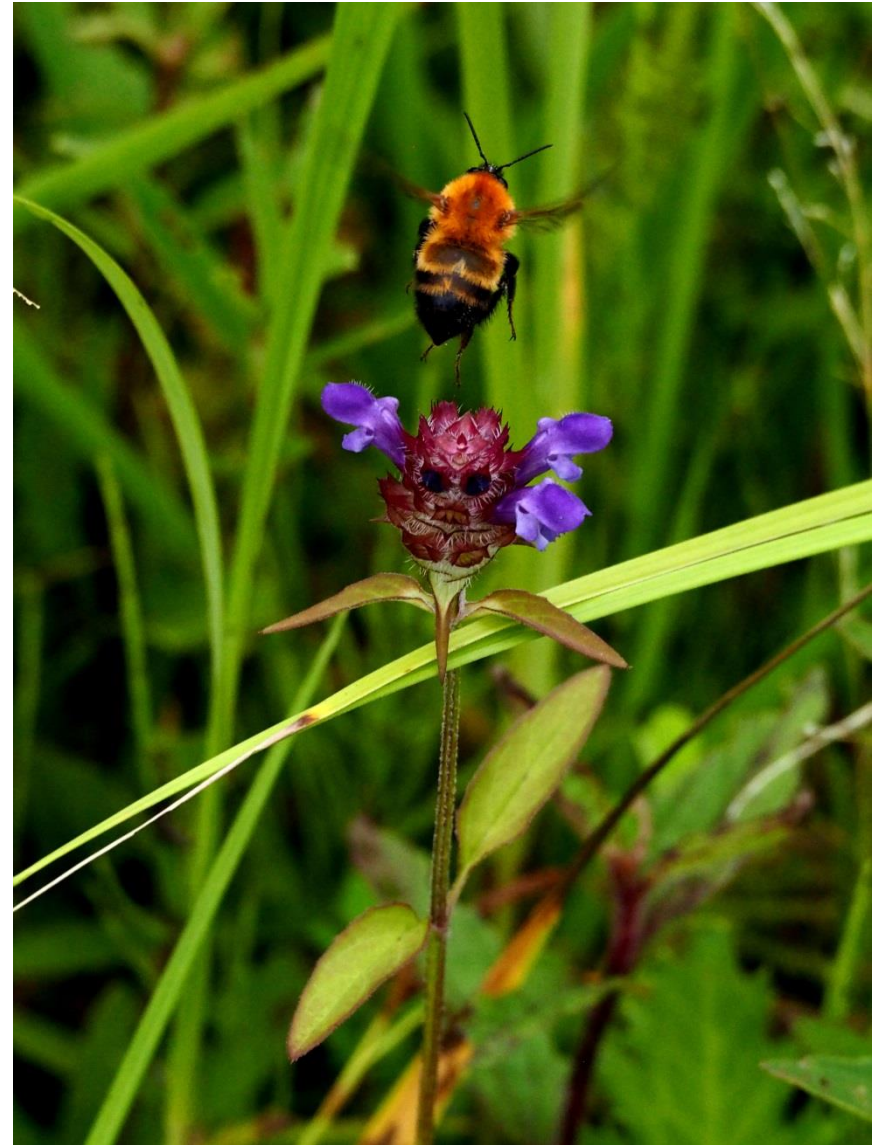
ヒメミクリ（姫実栗） ミクリ科

丘陵や浅い山の林内に生える高さ30～60cmの多年草。茎には翼状の稜がある。葉は互生、下の2-3個が大きく上のものほど小さい。

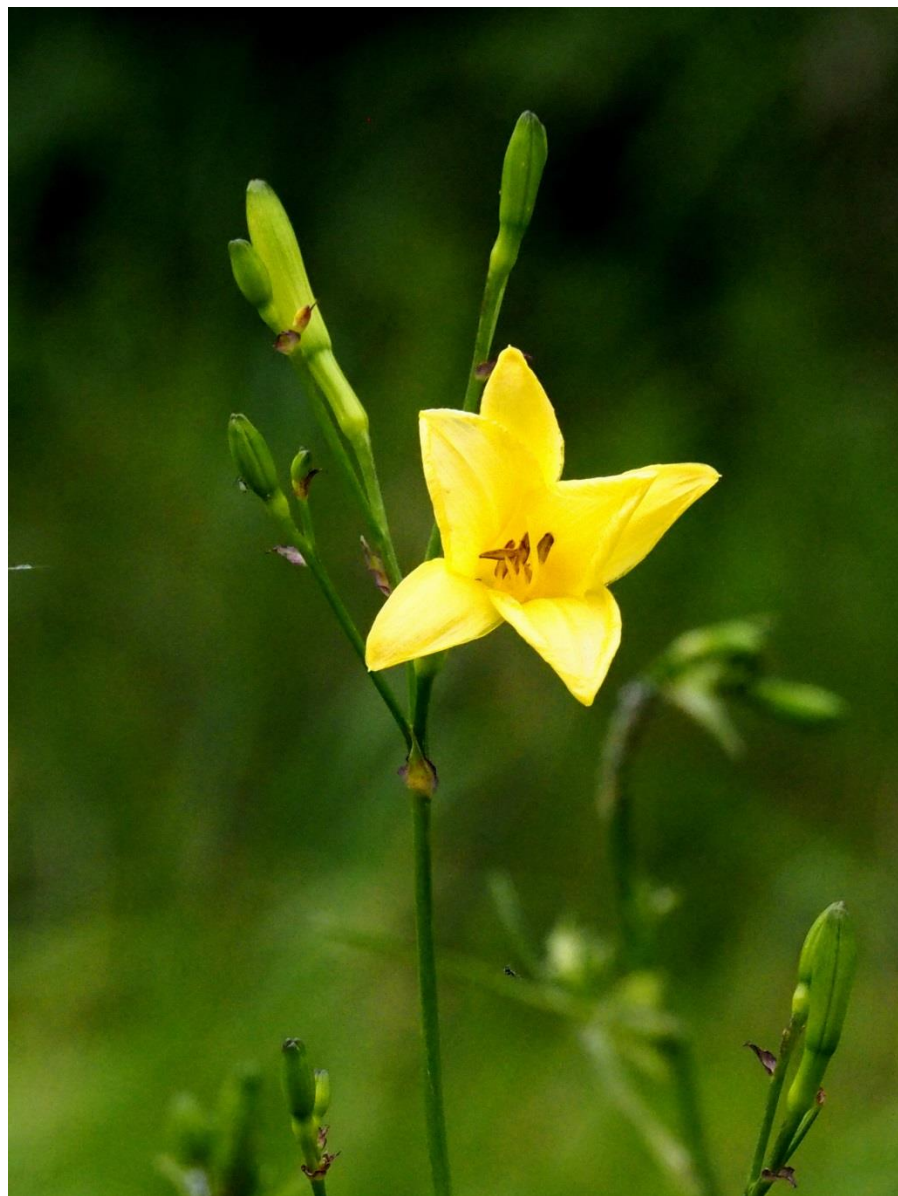




# ウツボグサ(靱草) シソ科



ユウスゲ(夕菅) ユリ科 別名:キスゲ(黄菅)





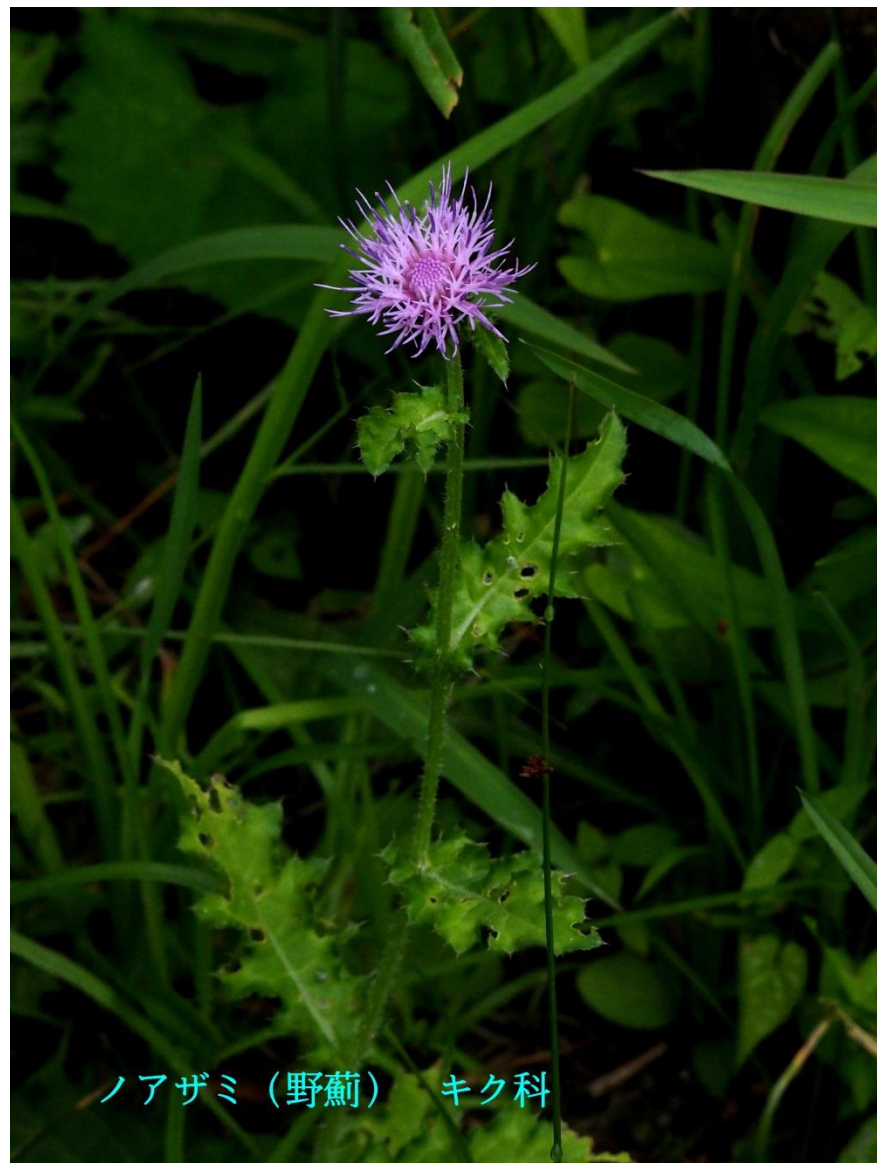
ユウスゲ（夕菅） ユリ科  
別名：キスゲ（黄菅）

# カキラン



カキラン (柿蘭)  
ラン科

# ノアザミ

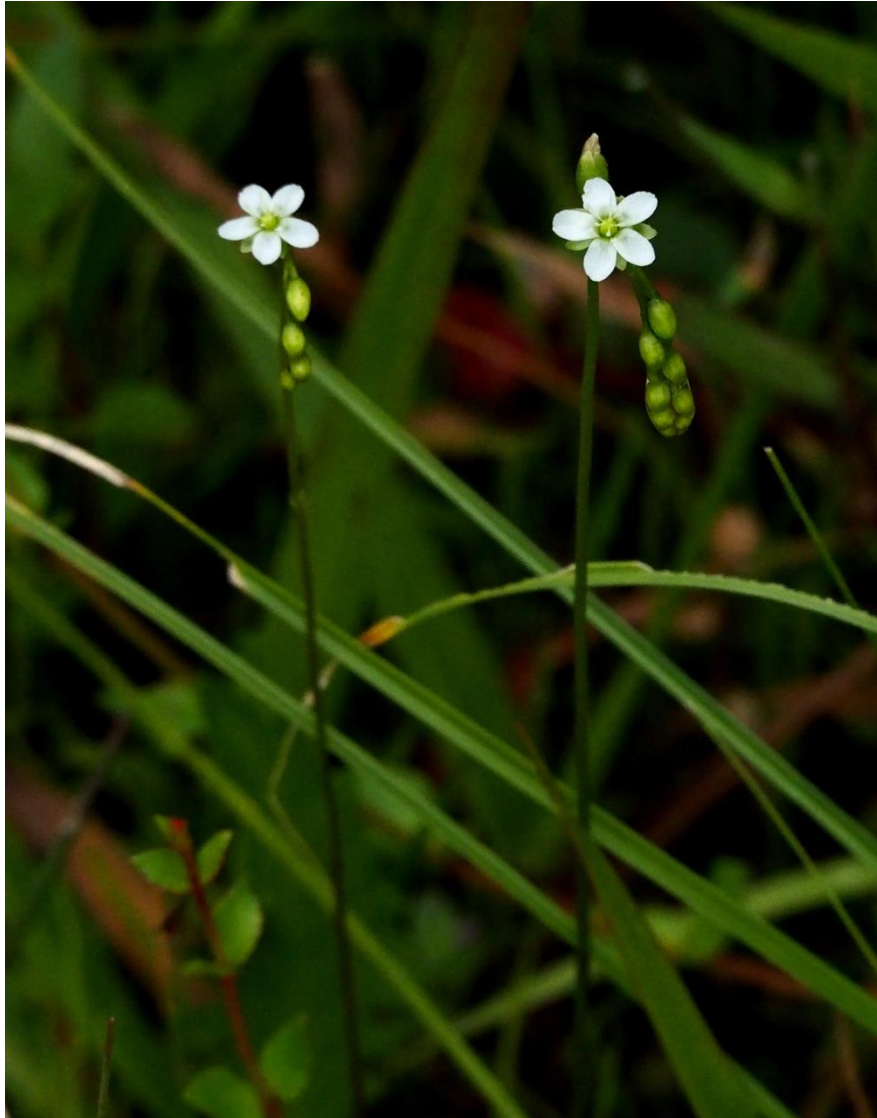


ノアザミ (野薊) キク科

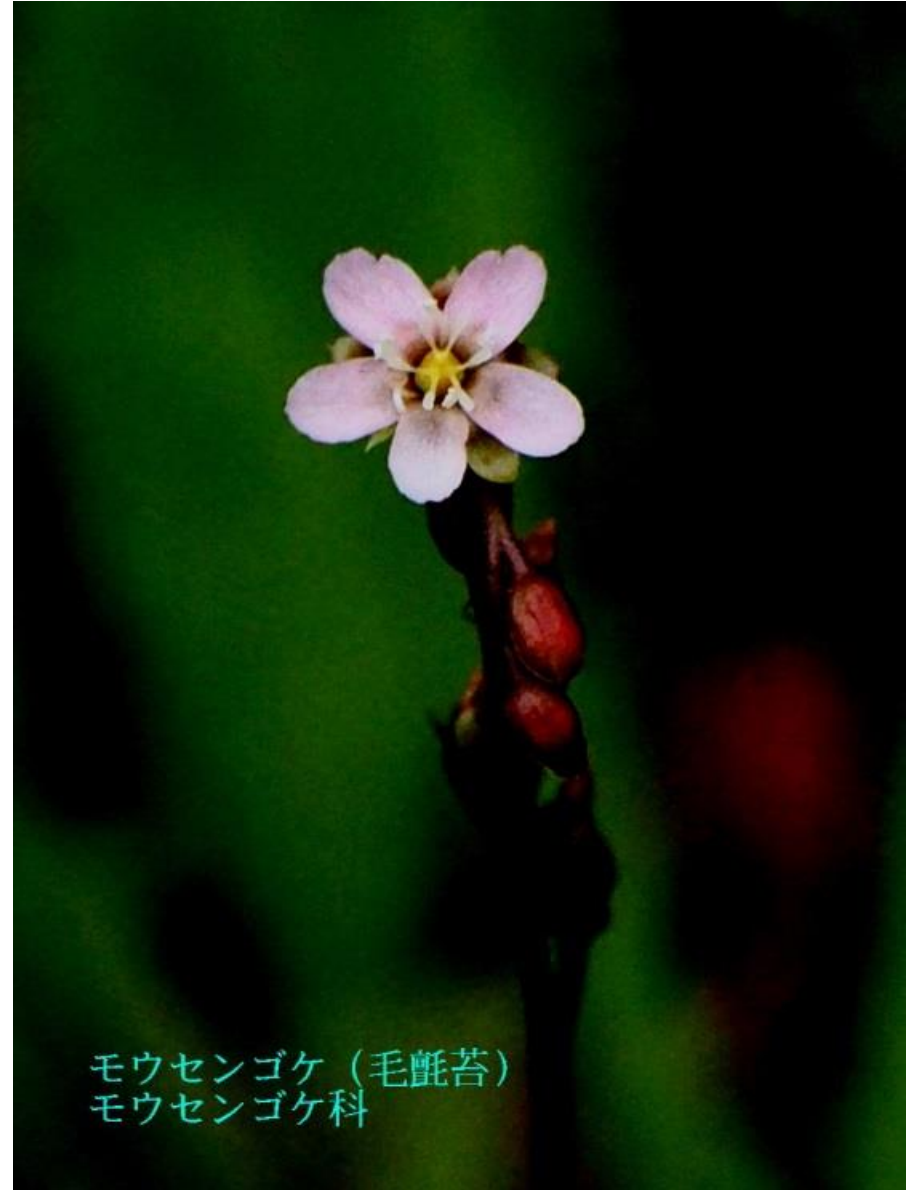
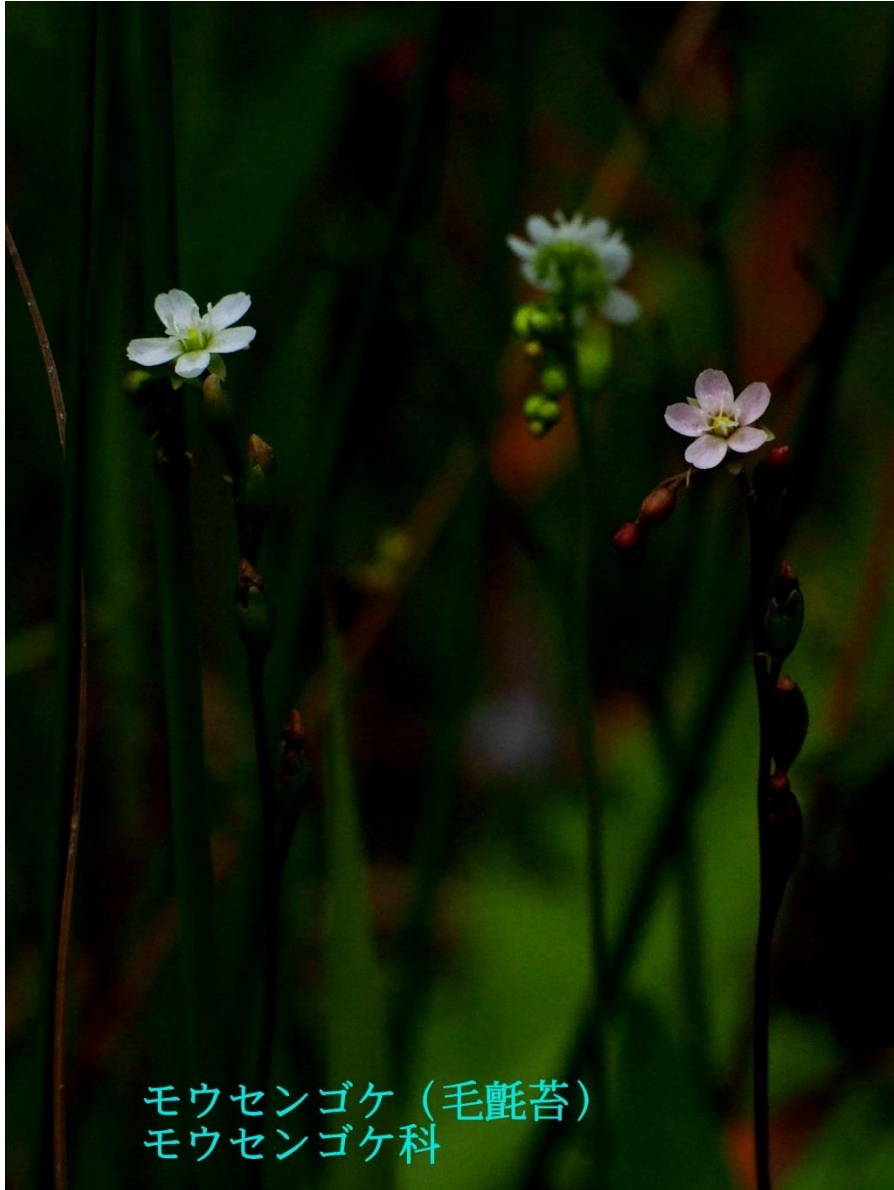


ジュンサイ（蓴菜） スイレン科

日本では北海道から九州まで湿地帯に自生し、  
多数の都道府県にてレッドリストの絶滅危惧I類、絶滅危惧II類、  
準絶滅危惧などに指定されている。(出典:Wikipedia)



薄いピンク色の花もある。

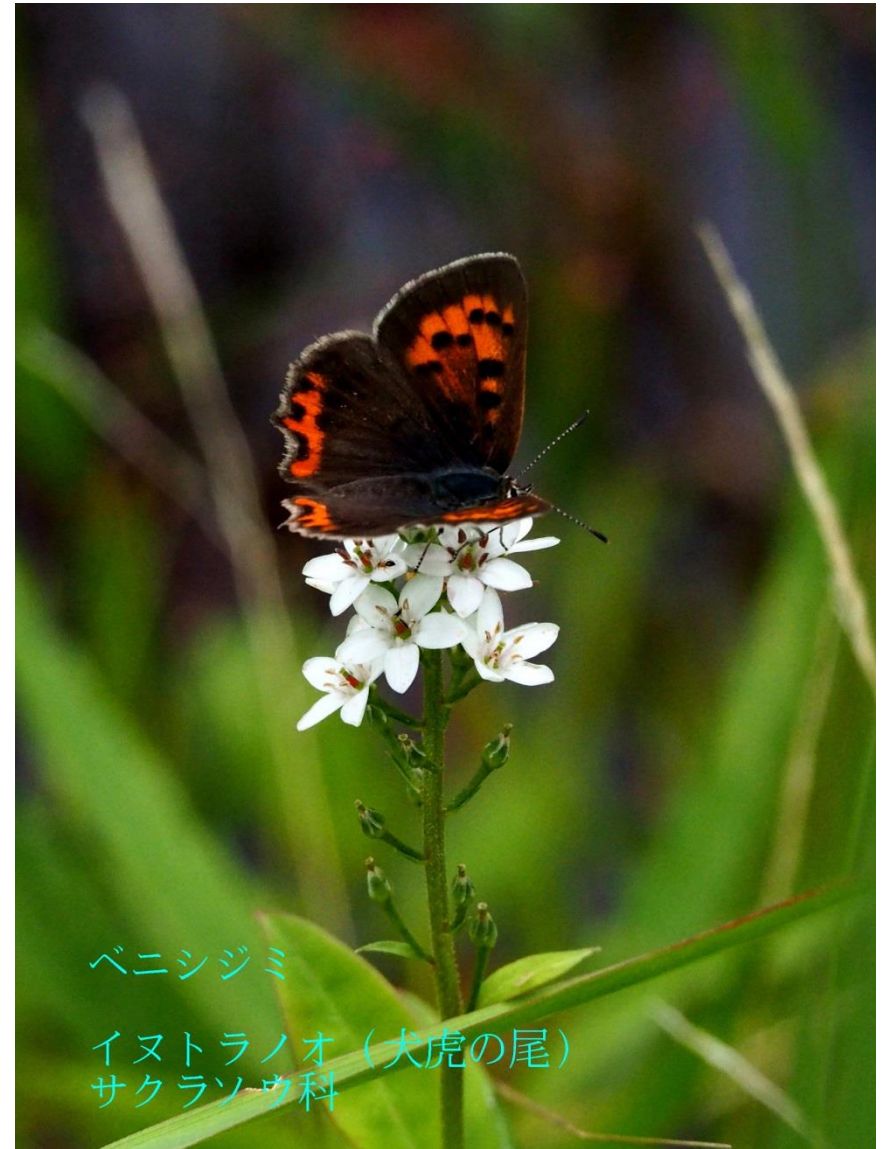
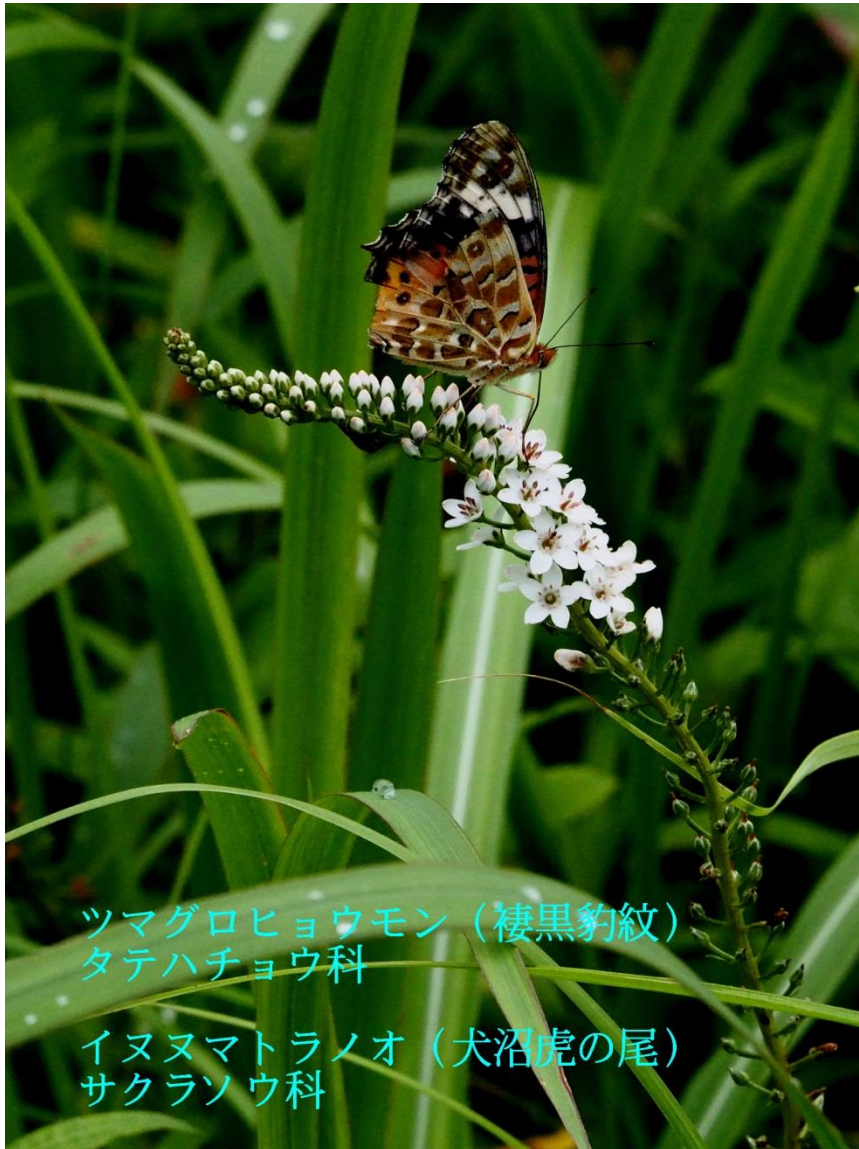


ヌマトラノオ(沼虎の尾)」は7～9月に咲くサクラソウ科の花。花の特徴は「直立した茎先に総状花序(柄のある花が花茎に均等につく)を出し、白い花をたくさんつける。岡虎の尾(オカトラノオ)と似ているが、花穂がまっすぐ立って葉も小さい。





# イヌヌマトラノオ(犬沼虎の尾) サクラソウ科





ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）オス  
シズイ カヤツリグサ科



ハッチョウトンボ (八丁蜻蛉) オス  
ミツガシワ (三つ柏) リンドウ科



ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）メス



モノサシトンボ（物差蜻蛉）（オス）  
ミツガシワ（三つ柏）リンドウ科



オス

メス

クロイトトンボ (黒糸蜻蛉)



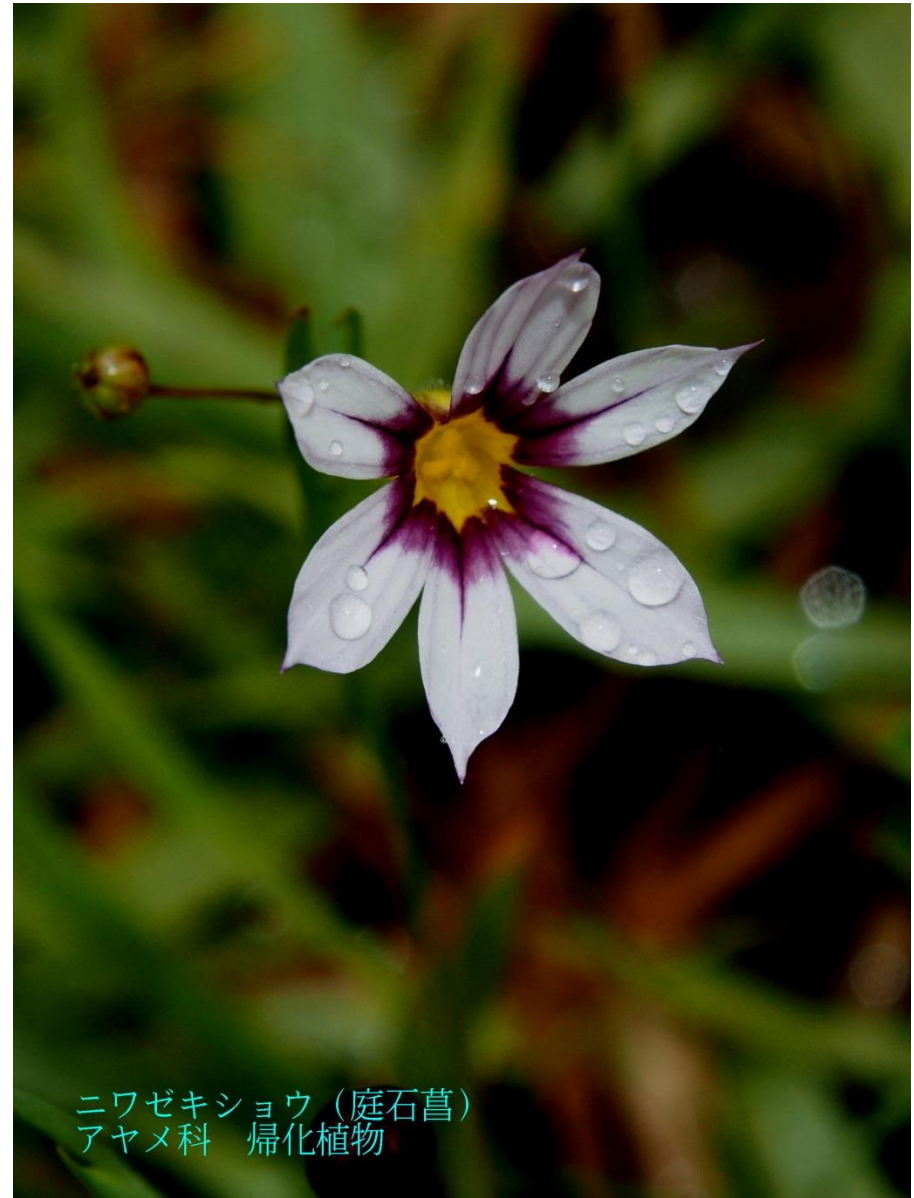
キイトトンボ (オス)



ヒツジグサ（未草） スイレン科



花色は白のものと赤紫のものがあり、中央部はどちらも黄色である。  
花は、受精すると、一日でしぼんでしまう。(出典:Wikipedia)



# 道中に見た花



ヤブカンゾウ（藪萱草） ユリ科



アベリア スイカズラ科 常緑低木



カタバミ（傍食、酔奨草）カタバミ科